

舌

五年

筆順 二
クン オン ゼツ
した



成り立ち

「守る武器」である「たて」を表した「干」と、「口」を組み合わせて作った字です。

「大事な「口」の働きを助け守る、「口の武器」とも言える「した」を表した字です。

「話す」こと、また、「ことば」の意味にも使われます。

使い方

▼まだ学校に行かないころ、母から、「うそを言うとなんま様に舌をぬかれるよ」と言われましたので、ぼくはうそは言わないように気をつけています。

▼「相手のうで前は大きいたはならないのだが、舌戦がうまいので、そのためにやられる」と、父は笑いながら言いました。

熟語例

▼舌鼓(食べる時、舌を鳴らすことで、「おいしい物を食べる」意味に使います。「舌鼓を打つ」と言います。)

▼舌打ち(失敗した時などに舌を鳴らすこと。不満を表すしぐさです。「チエツ」という音が出ます。)

▼口舌(「ことば」や「話す」の意味。例)口舌の徒(口先だけで実行力のないひと)

▼筆舌(書くことと話すこと。例)筆舌に尽くしがたい苦勞(言葉にも文章にも表すことができないほどの大変な苦勞)

▼舌戦(言葉の戦い。口争い。言い争い)

▼毒舌(口が悪いこと。ひどい皮肉や悪口のこと。)

▼長広舌(長々しいおしゃべり)

絶

五年

筆順 12
クン オン ゼツ
た 11 える 11 やす 11 つ



成り立ち

今は、「色」という字と、「糸」とで作られています。もとは、「絶」という字で、「刀」と、人の形を表した「巴」と、「糸」との三つを組み合わせて作った字でした。

「人が、刀で、糸を「断つ」ことを表した字です。「断ち切る」ことを表した字ですが、今は「糸」にかんけいなく使います。例)断絶。

「断える」こと、「絶やす」ことの意味に使います。例)絶滅、根絶、廃絶、絶望。

「断る」という意味にも使います。例)拒絶、謝絶。また、「かけはなれてすぐれている」という意味にも使います。例)絶景、絶妙。

使い方

▼「絶えず笑顔で」ということは、やさしそうできて実 はなかなかむずかしいことです。

▼「親子の断絶」など、あつてはならないことです。 「とき」は美しい鳥ですが、今は絶滅の危機に瀕しているそうです。

▼悪い病気は、世の中から根絶したいものです。

熟語例

▼断絶(断も絶も「断ち切る」こと。親子の断絶は、親子の結びつきを断ち切ること。また、親子の結びつきが断ち切れること。)

▼絶滅(今まで続いて来た物が絶え滅びること。)

▼根絶(根絶やし。雑草を除去する場合、根が残っているとまた生えて来ますが、根こそぎにするとうえな

ことから、「徹底的に絶やす」ことを言います。)

▼絶望(望みが絶えること。希望を失うこと。)

▼拒絶(拒み断ること。強く断ること。)

▼謝絶(謝も「断る」意味の字ですが、「ていねいに断る」ときに使います。例)病気につき面会謝絶)

▼絶景(この上なく美しい景色)